

POINT

1. 優れた安定性
2. 施工が簡単・安全・早い
3. 優れた経済性
4. 宅地造成工事に使用可能
5. あらゆる環境にマッチ

＜Aタイプ＞(標準型)

＜基礎ブロック＞(50型)

＜Bタイプ＞(縦半分型)

＜Cタイプ＞(横半分型)

▶ 積みブロック

水平自立積大型ブロック レベロック

● NETIS 登録 No.KK-080003-VE

特徴

1. 優れた構造安定性

ブロック練り積み擁壁としての壁体重量、一体性、コンクリート強度等は標準設計と同等以上となっており、一般的な積みブロックと同様の使用が可能です。

2. 施工が簡単・安全・早い

ブロックは全てのサイズ、全ての勾配で水平自立する為、熟練工でなくても、誰でも簡単に、安全に、短期間に施工できます。

3. 優れた経済性

製品サイズが1㎡/個と大型なため、重機施工となり、積みスピードが大幅にアップします。さらに、裏コン対応用のブロックを使用することで裏型枠・裏コン作業が不要となり、さらなる低コストの施工が可能となります。

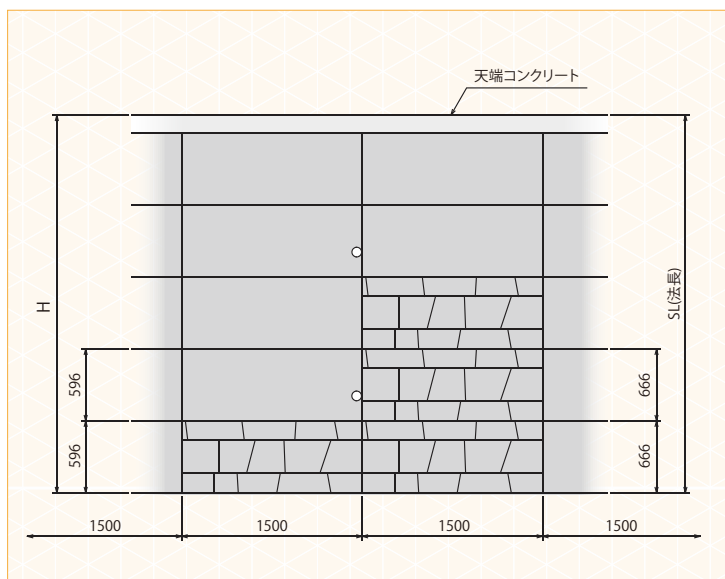
4. 宅地造成工事に使用可能

この製品は、宅地造成規制法、第15条に関する国交省告示(第1485号)に定められたコンクリートブロック練り積み擁壁に関する各号の基準を全てクリアしており、大臣認定擁壁ブロック同等品として宅地造成工事に使用可能です。

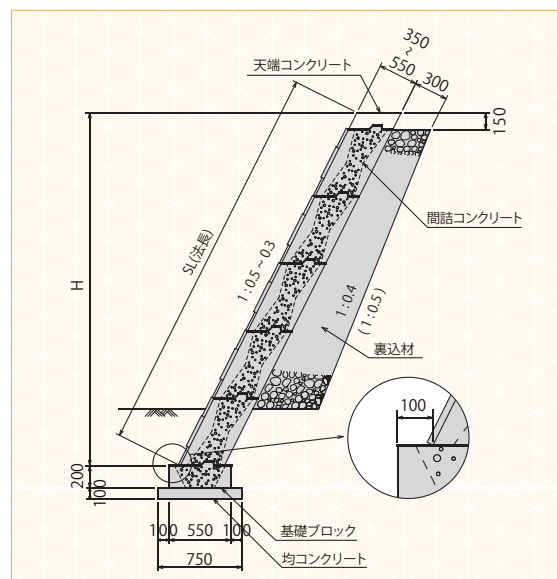
5. あらゆる環境にマッチ

ブロック表面の模様は自然景観にもよくなじむ石模様です。

展開図



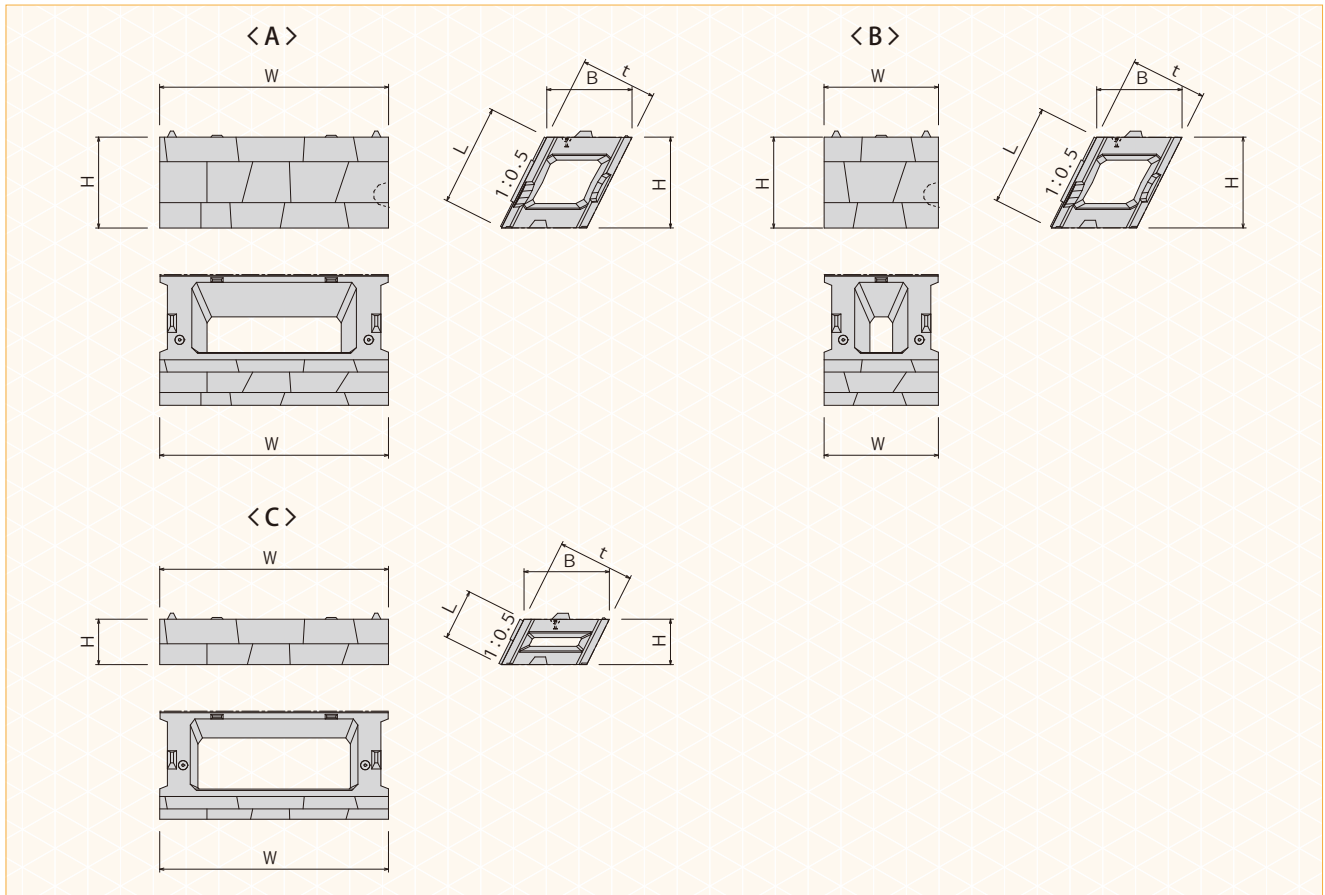
参考断面図



参考歩掛表 (NETIS 登録歩掛)

10㎡当り				
世話役 (人)	ブロック工 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	クレーン16t (日)
0.10	0.30	0.10	0.30	0.20

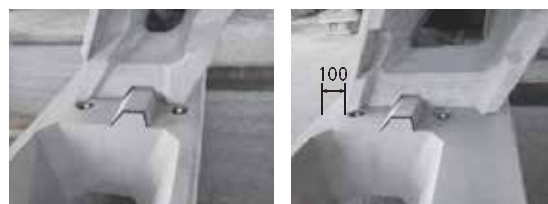
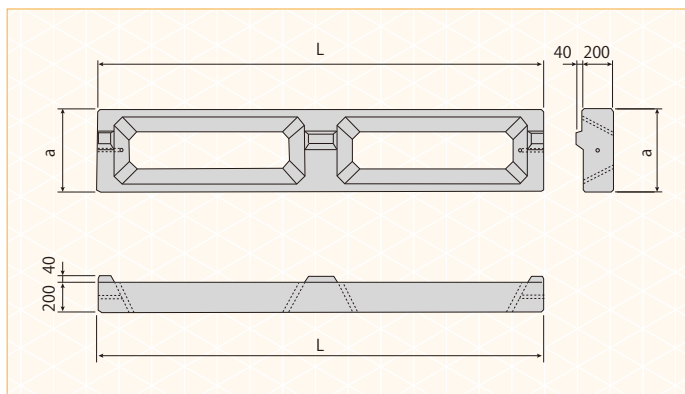
形状図



寸法表

規 格			形 状 寸 法 (mm)					参考重量	胴込量
			W(長さ)	H(高さ)	L(斜長)	B(控幅)	t(控長)	(kg)	(m ³ / 個)
35 型	5 分	A(標準)	1500	596	666	391	350	435	0.178
		B(半幅)	750					255	
		C(半高)	1500	298	333			205	
	4 分	A(標準)	1500	618	666	377		445	0.173
		B(半幅)	750					235	
		C(半高)	1500	309	333			205	
	3 分	A(標準)	1500	638	666	365		450	0.171
		B(半幅)	750					240	
		C(半高)	1500	319	333			210	
45 型	3 分	A(標準)	1500	638	666	470	450	480	0.258
		B(半幅)	750					260	
		C(半高)	1500	319	333			225	
50 型	5 分	A(標準)	1500	596	666	559	500	475	0.310
		B(半幅)	750					290	
		C(半高)	1500	298	333			255	
	4 分	A(標準)	1500	618	666	539		485	0.299
		B(半幅)	750					290	
		C(半高)	1500	309	333			255	
	3 分	A(標準)	1500	638	666	522		490	0.304
		B(半幅)	750					290	
		C(半高)	1500	319	333			255	

基礎ブロック

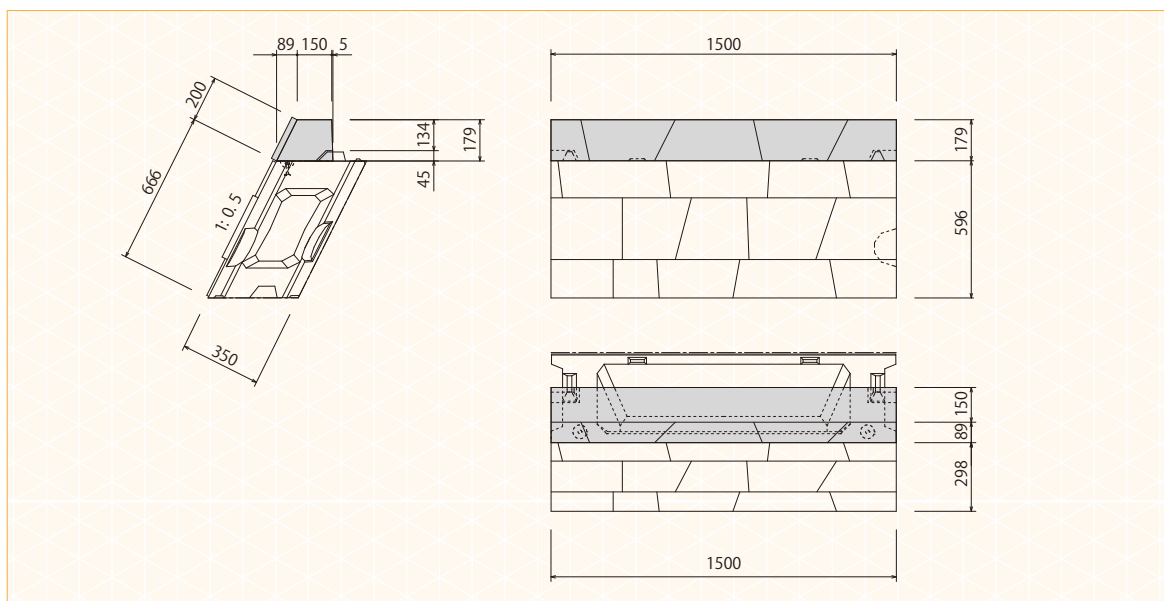


※基礎ブロック上段の突起の斜面が緩やかな方がブロック前面になります。

規格		形状寸法 (mm)			参考重量 (kg)	胴込量 (㎡/個)
		L(長さ)	高さ	a		
35 型用	標準	3000	200	550	365	0.167
	端部	1500			180	0.084
50 型用	標準	3000		710	585	0.167
	端部	1500			290	0.084

天端調整ブロック取付図

参考重量：120kg



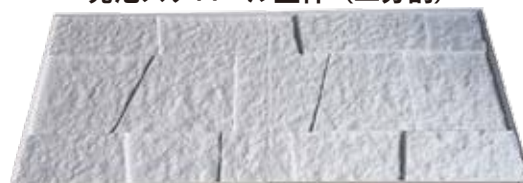
現場打部の型枠

コンクリートパネル



1500 × 666 × 70

発泡スチロール型枠（二分割）



1500 × 666 × 40

実績写真



施工①



施工②



福岡県 市道草場線



宮崎県 椎葉村

施工要領

- ① 基礎ブロックの布設
コンクリートを設置した後、所定の位置に基礎ブロックを布設し、間詰コンクリートを天端まで打設します。
- ② 1段目のブロック布設
ブロックを布設した後、ブロックの裏側から良質土、又は裏込材で埋戻し、間詰コンクリートをブロックの半分程度まで打設します。
- ③ 2段目以降のブロック布設
ブロックを布設した後、裏込材を充填し、間詰コンクリートをブロックの半分程度まで打設します。（必要に応じて水抜きパイプを設置）
- ④ 天端コンクリート
天端コンクリートを施工して完了です。

